

都市経営プロフェッショナルスクール

公民連携スタートアップコース

[申し込み](#)

【1次募集受付】:2018年2月18日(日)まで

※「申し込み」をクリックいただくと、申込フォームに遷移します。

都市経営プロフェッショナルスクールについて

都市の経営課題を解決する

日本のまちづくりは危機に瀕しています。

人口減少局面に入ったことで税収は低迷し、まちを担ってきた国・地方自治体の財政状況は逼迫しています。従来型の高投資・高コスト運営となる施設建設・公共サービスは、まちを良くするどころか長期に渡って自治体財政の負担となり、一等地の生産性を殺してきました。今後は国・地方自治体の大きな課題である、公共不動産活用を促進して税収・雇用の問題に切り込む必要があります。「波及効果」「二次的効果」と言葉を濁して質の評価に逃げることはもはや許されません。

日本の多くの公共事業は、議会や訴訟に備えて事業手続きはしっかり行われてきましたが、公共性を隠れ蓑に事業成果には目を背けてきました。しかし、少数ながら公共が民間と協力し、「都市経営」という観点から税収・雇用の問題に切り込んでしっかりと成果をあげる事例が続々と生まれつつあります。

図書館やカフェ、産直施設などで維持費を低減し、今までと全く違った「公共サービスで稼ぎだす」ことを実現した「オガール紫波」はその代表的な事例です。自治体は公共負担をせず歳入を増加させ、施設を通じて雇用は拡大。民間は事業収益を生み出すことが可能になっています。従来の補助金漬けかつ運営に失敗する再開発とは全く逆の効果になっています。公共性に逃げ込み事業性を無視するのではなく、むしろ事業性を追求することが公共性の担保にも繋がる新たな公民連携は、今後の縮小社会の公共のあり方を根本から変える新手法となります。

本スクールは、日本初の公設民営方式で開学した「東北芸術工科大学」と、戦略的都市経営と公民連携事業で先駆的な取り組みを行ってきた「一般社団法人公民連携事業機構」が行う、都市の経営課題を解決する人材の育成を目的としたプログラムで、主に行政の幹部、現場職員、地方議会議員とそれらを目指す方々に向けて設計を行っています。

これまで3年間に渡り展開してきた「公民連携プロフェッショナルスクール」を発展的に再構築し、「都市経営プロフェッショナルスクール」として、公民連携事業に関わる基本的な考え方や知識、先進地域のケーススタディからそのプロセスを学ぶ「専門基礎コース」と、基本を理解した上で、個別目的に特化し、更なる専門的な深掘りと実践を狙う「専門アドバンスコース」とを設けました。いずれも先進事例を実践した「公務員」「議員」「建築家」「事業家」らが講師となり、eラーニングと実地研修を組合せ、同時に実践にも繋げる日本初の画期的なプロフェッショナルスクールです。

本スクールをきっかけに、まちが持つ力を自ら引き出し、次世代、次々世代まで続くまちを築いていきましょう！

都市経営プロフェッショナルスクール

専門基礎
コース

公民連携スタートアップコース

(eラーニング + 集合研修(2回) + 各地実地経験(2回))

公民連携事業に関わる基本的な考え方や知識、先進地域のケーススタディからそのプロセスを学ぶ

個別専門コースのテーマ・内容
・受講料等は現在検討中です。

専門アドバンス
コース

公園

河川

リノベー
ション

エネル
ギー

PPPエー
ジェント

...

「公民連携事業」の基本的な理解を得た上で、個別目的に特化した専門コースによる更なる深掘りと実践へ

公民連携スタートアップコースのねらい



本コースでは、公民連携事業に関する基本的な考え方や知識、先進地域のケーススタディからそのプロセスを学びます。主に以下4つの特長でプログラムを組み立てています。

1 eラーニング+集合研修

全国の方々が、時間・場所の制約なく、ご自身のペースで学習できるよう基礎となる学習は「eラーニング」で実施いたします。eラーニングで提供されるコンテンツは「レクチャー映像」と関連する「課題図書」から成り、いずれもレポート提出を行うことで知識の理解と定着に繋がります。また、eラーニングだけでは得ることのできない対話、交流、議論、共同作業という体験を重視し、2度にわたる集合研修の機会を設けます。これらにより、「知識」「実用スキル」「人的ネットワーク」を拡大させます。

2 講師陣はすべてまちの再生の「実務者」

プロジェクトを実現に結びつけるには、専門的な知識に加えて「実行力」が極めて重要です。そのため、すべての講師をまち再生の「実務者」で構成し、知識を得るだけでなく講師陣が成し遂げた各プロジェクトの背景も学びます。

3 多数のケーススタディを用意

従来の開発先行型のプロジェクトとはまったく異なり、公共と民間の垣根を超えた公民連携事業で目覚ましい成果を上げる岩手県紫波郡紫波町の「オガールプロジェクト」や、北九州市小倉都心部の「リノベーションまちづくり」などをはじめ、全国各地の先進事例を掘り下げます。

4 OB/OGらとの積極的な連携を推進

スクール卒業後は、それぞれが各地で公民連携事業を立ち上げ実践していくことを目指しています。そのため、前身となる「公民連携プロフェッショナルスクール」のOB・OGらとの交流機会を積極的に作り、知見の共有や人的ネットワークの拡大を促します。



公民連携スタートアップコース(第1期)全体のながれ

申込・選考等	2～4月	<p>申込期間（1次募集・2次募集）</p> <p>選考／合格</p> <p>【1次募集受付】:2018年2月18日(日)まで</p> <p>【2次募集受付】:2018年3月 1日(木)～3月31日(土)</p>
	4～5月	受講料入金
eラーニング	6月	基礎学習(eラーニング) レクチャー&課題図書
集合研修 (開校式)	7月	集合研修(開校式) @東京 (2日間) ※6/30(土)～7/1(日)を予定
eラーニング	7～9月	基礎学習(eラーニング) レクチャー&課題図書
集合研修 (修了式)	10月	集合研修(修了式) @オガール紫波(岩手県紫波郡紫波町) (3日間) ※10/19(金)～21(日)を予定

実践へ

※集合研修の場所・日程は2018年1月時点での予定です。
 ※場所・日程に変更が生じる場合には、個別に受講生へご連絡させていただきます。

公民連携スタートアップコース(第1期)概要

受講形態 eラーニング + 集合研修(開校式+修了式)

受講料 50万円(税別) (※1)

学習内容 【eラーニング】 本講座 16科目程度のレクチャー動画+課題図書
・本講座映像は、1科目につき約20分のレクチャー映像×4本(合計80分)を基本とし、構成されます。
また、レクチャー動画と併せて、毎週1~2点の課題図書が明示され、それもとにしたレポートを提出いただきます。
・本講座映像は、6月~9月末までの配信を予定しています。

【集合研修】

開校式(連続2日間) : 会場/東京、6/30(土)~7/1(日)での実施を予定

修了式(連続3日間) : 会場/オガール紫波・岩手県、10/19(金)~21(日)での実施を予定

受講期間 6月~10月

- ・募集に際しては、**事前選考を実施いたします。**
- ・開校式・修了式の集合研修については、指定日時・指定場所にて実施のためスケジュールをご調整いただく必要があります。また、その際ノートパソコンまたはタブレットなど、wi-fiでインターネット接続ができ、資料作成作業が可能なデバイスを持参いただく必要があります。予めご了承ください。
- ・集合研修の日程・会場は上記の予定です(2018年1月時点)。会場、日程に変更が生じる場合には、個別に受講生へご連絡いたします。なお、eラーニングまたは集合研修一方のみの受講はお受けできません。
- ・eラーニングを受講いただくためのパソコン等の機材や環境の準備、課題図書の準備、ならびに集合研修参加に関わる宿泊先・食事・移動交通・個別の必要備品(ノートパソコンまたはタブレット端末等)に関わる費用はご自身にて対応をお願いいたします。本受講料には含まれません。
- ・eラーニングコンテンツは受講期間中ご覧いただけます。
- ・本講座の配信映像数ならびに課題図書の点数が多少変更になる場合があります。
- ・お申し込みが規定数に達しなかった場合には、開講を見送る場合があります。
- ・eラーニングと集合研修に加えて、実施期間中に2回の実地経験を経いただくことを予定しています。詳しくは開講の際に講師よりご案内いたします。

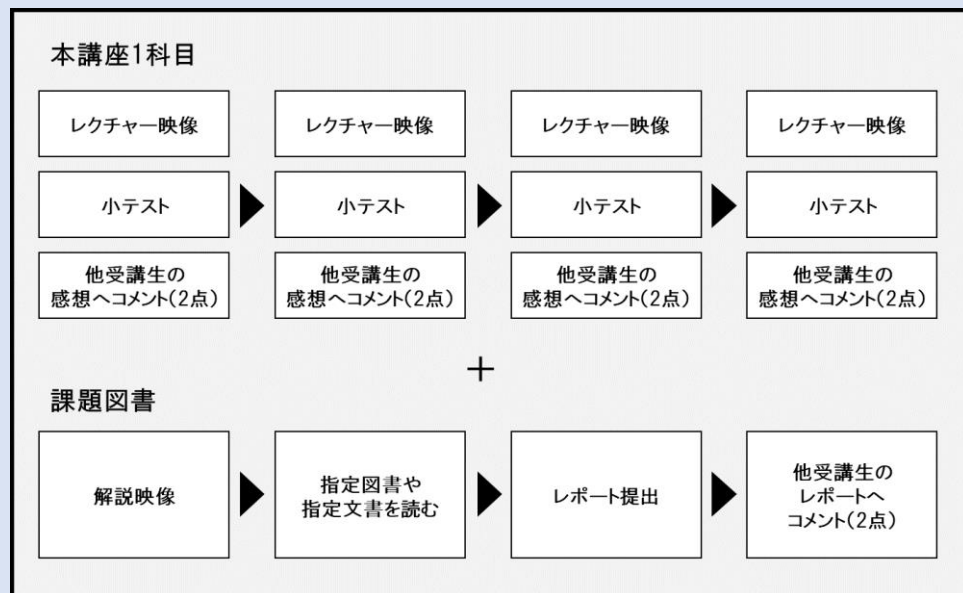
※1 受講料に関して、条件を満たす場合に**特典割引**がございます。詳しくは、「[申込特典について \(p.13\)](#)」をご参照ください。

本概要は2018年1月時点のものであり、今後内容が変更となる場合があります。

eラーニングの流れ

【eラーニング学習の基本的な流れ】

- ・本講座の新規コンテンツは、火曜日を基本として配信されます。
- ・各コンテンツは受講期間内であれば何度でもご覧いただけますが、受講期間満了後は視聴いただけません。
- ・お盆、年末年始時に配信をお休みさせていただく場合がございます。その際は、事前にメールにてご連絡いたします。
- ・本スクールでは他者視点も共有することで洞察を深めることを意図し、「映像受講」 + 「他受講生の感想またはレポートへのコメント(計2点)」を行うことで、各回の学習が対応完了となります。



【本講座(毎週)について】

- ・毎週、1科目(約20分の映像×4点を基本として構成)のレクチャー映像が配信されます。各映像を見て、必要に応じて小テストに回答し、各科目最終動画視聴後に、課題レポートを提出していただきます。
- ※回によって、映像数や小テストの有無、レポート課題数が多少変わる場合があります。
- ・加えて、必読図書として「課題図書」が明示されますので、その図書をもとに求められるテーマに対してレポートを提出いただきます。
- ※課題図書の詳細については、開講後、メールにてご案内いたします。

eラーニングのカリキュラム(予定)

※各科目は約20分×4回を基本とした映像で構成されます。

内容参考情報であり、現時点では確定しておりません。内容が固まり次第、ご連絡内容を差し替えます。予めご了承ください。

0	1	2	3	4	5	6	7	8
ガイダンス	都市経営概論	都市経営概論	公民連携事業概論	公民連携事業概論	公民連携事業概論	ケーススタディ	ケーススタディ	ケーススタディ
本コースの意図・ゴール、学びの姿勢、学び方など	これまでの失敗	フレームワーク、都市経済構造の認識	新しい自治体職員像、期待される政策	都市経営課題と都市経営資源とビジョン	公共施設の集客力を収益化する	北九州市「小倉家守構想」とリノベーションスクール	和歌山市「和歌山家守構想」とリノベーションスクール	岩手県紫波町「オガールプロジェクト」

9	10	11	12	13	14	15	16
ケーススタディ	ケーススタディ	ケーススタディ	ケーススタディ	ケーススタディ	ケーススタディ	ケース	まとめと今後
廃校利活用「3331・東京おもちゃ美術館」+地方美術館	公園利活用南池袋、泊まれる公園、長池	水辺利活用水都大阪他	公共空間でのマーケット事業	未定	初めの一步成長プロセス壁と突破	初めの一步の成果、実践プロセス、突破した壁やってみてわかったこと	実践コース紹介

eラーニングの学習システム



申込みに際して、事前対応のお願い

本スクールでは、eラーニング受講に際し、一般社団法人エアリア・イノベーション・アライアンスが提供する「AirLec(エアレック)」を活用いたします。お申し込みの際、同システムを利用できることが前提となりますので、各自で動作確認をお願いいたします。なお、動作確認に際しては、AirLecへのユーザー登録が必要となります。

・AirLecのユーザー登録画面はこちら

→ <http://airlec.jp/auth/register>

・AirLecの動作確認ページはこちら

→ <https://airlec.jp/lecture/preview/13/47>

●eラーニング学習環境について

受講にはパソコンもしくはタブレット、およびインターネットに接続できる環境とJavaScriptが有効である必要があります。

お使いの端末で不都合がある場合には、以下をご確認ください。

○ パソコンの場合

最新バージョンのGoogle Chrome、もしくは、Firefoxをお試しください
なお、Internet Explorer10以前は快適にご利用いただけません

○ タブレットの場合

横表示でお使い下さい。

最新バージョンのOSでの利用をお勧めいたします。

iOS、Androidは、最新のiOSでのご利用をお勧めします。

(Androidは機種により動作が異なるため、個別の表示異常等が発生する場合があります)

※無線LANをご利用の場合、途中で接続が切れる可能性があります。

※上記環境を満たしていても、個々の環境により授業コンテンツの再生がうまく行かない場合もありますので、予めご了承下さい。

集合研修 <開校式&修了式>



「eラーニング」で修得した知識を、実践に結びつけるため、受講期間中に2度の集合研修を実施いたします。

集合研修では主に個別にチームを組んで行う「演習」と、ゲスト講師による「レクチャー」から成り、公民連携基本計画や家守構想といった、新たな公民連携、遊休資産活用の事業計画に向けた能力開発を行います。



開校式(連続2日間)

:会場/東京、6/30(土)ー7/1(日)での実施を予定

修了式(連続3日間)

:会場/オガール紫波・岩手県、10/19(金)ー21(日)での実施を予定

- ・開校式・修了式の集合研修については、指定日時・指定場所にて実施のためスケジュールをご調整いただく必要があります。
 - ・また、その際ノートパソコンまたはタブレットなど、wi-fiでインターネット接続ができ、資料作成作業が可能なデバイスを持参いただく必要があります。予めご了承ください。
 - ・集合研修の日程・会場は上記の予定です(2018年1月時点)。会場、日程に変更が生じる場合には、個別に受講生へご連絡いたします。
- なお、eラーニングまたは集合研修一方のみの受講はお受けできません。

講師紹介

以下は、本スクールのメイン講師となります。そのほか、eラーニング等で様々なプロジェクトを担当している当事者からレクチャーをいただく予定です。



清水義次

北九州市小倉家守プロジェクトプロデューサー／株式会社アフターヌーンソサエティ代表取締役／一般社団法人公民連携事業機構代表理事／内閣官房地域活性化伝道師

1949年山梨県生まれ。東京大学工学部都市工学科卒業後、コンサルタント会社を経て1992年(株)アフターヌーンソサエティ設立。都市生活者の潜在意識の変化に根ざした建築のプロデュース、プロジェクトマネジメント、都市・地域再生プロデュース、家守(やもり)事業プロデュースを行っている。なかでも現代版家守業の実践と啓蒙に注力し、千代田区神田地区や新宿歌舞伎町に続いて、北九州市小倉におけるまちを変革するビジネスモデル構築等に幅広く挑んでいる。また、アーツ千代田3331の運営も手がけている。東洋大学大学院公民連携専攻客員教授。内閣官房地域活性化伝道師。



岡崎正信

オガールプラザ株式会社代表取締役／オガールベース株式会社代表取締役／一般社団法人公民連携事業機構理事／内閣官房地域活性化伝道師

1972年岩手県生まれ。株式会社故郷の山専務取締役他に、オガール紫波(株)取締役事業部長、岡崎建設(株)事業部長。1995年に地域振興整備公団(現都市再生機構)に入団し、2002年に退団するまでの間、東京本部、建設省都市局都市政策課、北海道支部などで地域再生業務に従事。現在は家業と共に、岩手県紫波町が出資する「オガール紫波株式会社」の事業部長として、紫波町の公民連携事業を企画推進、現在は株式会社オガールプラザ代表取締役として中核施設を運営している。内閣官房地域活性化伝道師。



木下斉

一般社団法人エリア・イノベーション・アライアンス代表理事／一般社団法人公民連携事業機構理事／内閣官房地域活性化伝道師

高校時代より早稲田商店街の活性化事業に参画、平成12年に全国商店街の共同出資会社である株式会社商店街ネットワークを設立、初代社長に就任。平成20年より熊本城東マネジメント株式会社をはじめとして全国各地でまち会社の立ち上げ、再生に従事。平成22年、これら全国各地のまち会社と共に、事業開発の一体的推進を行うため一般社団法人エリア・イノベーション・アライアンスを設立、代表理事就任。内閣官房地域活性化伝道師なども務める。



竹内昌義

オガールプロジェクトデザイン会議委員／東北芸術工科大学教授／みかんぐみ共同主宰

1995年よりみかんぐみ共同設立。2000年より東北芸術工科大学デザイン工学部助教授。2008年より同教授。「未来の住宅 カーボンニュートラルハウスの教科書」や山形エコハウスの設計に関わり、環境やエネルギーの調和を目指しエコハウスの普及、啓発に努める。代表作 最上町の老人ホーム、伊那東小学校、愛・地球博トヨタグループ館(いずれもみかんぐみ)、ハウスMなど。



馬場正尊

リノベーションスクールライブアクター、ユニットマスター／オープン・エー代表取締役／建築家／東北芸術工科大学教授

1968年佐賀生まれ。1994年早稲田大学大学院建築学科修了。博報堂、早稲田大学博士課程、雑誌『A』編集長を経て、2002年Open A を設立。都市の空気を発見するサイト「東京R不動産」を運営。東京のイーストサイド、日本橋や神田の空きビルを時限的にギャラリーにするイベント、CET(Central East Tokyo)のディレクターなども務め、建築設計を基軸にしながら、メディアや不動産などを横断しながら活動している。

受講生の感想（前身である「公民連携プロフェッショナルスクール」第1期受講生）

●倉敷市 K.Mさん

財政状況と公共施設の更新・管理の課題、国と地方の財源の問題などを考えれば、地方自治体がジリ貧であることは明らかですが、未だ解決への処方箋は示されませんし、そもそも国が示すことができるかさえ疑問です。議会対応や行政内部の縦割り、住民理解が得られない、など「変えられない」言い訳をしている間に、まちは確実に衰退へと向かっています。

「私は何をどうすればいいの?」と思って公民連携プロフェッショナルスクールに参加しました。

公民連携事業は、「民間が稼げる」とか「公共施設を民間が使う」という短絡的なものではなく、成熟した社会を実現するために、公も民も一緒に頑張るフィールドを創ることだと思います。一期生は、スクールを通して、現状を分析し、何ができるか、何をすべきかを絞り込み、自分の地域における具体的な構想や事業計画を練っています。

2年目は、公民連携事業機構のサポートを受けながら、実践する段階に入ります。私にとって、このスクールは、漠然とした不安や葛藤を希望とやる気に変えてくれ、多くの貴重な仲間と繋がることのできる場となっています。あなたも仲間になりませんか？

最後に。講師も一緒に盛り上がって、厳しいけど、楽しいです！！ これホントです。

●盛岡市 A.Sさん

今、暮らしている「まち」に魅力を感じますか？自分が暮らす「まち」の未来を考えたことがありますか？悲観ばかりしていないで自ら行動を起こしましょう。パブリックマインドを持った「民」とプライベートマインドを持った「公」との公民連携事業について、このスクールで基本をしっかりと学び、これからの「まち」のあるべき姿を捉え自ら具体的行動を起こし、エリアの価値を創造していきましょう。

<なぜ受講したのか>

縮退する社会の中で、従来型のまちづくりに対する違和感があったこと
同じ市なのに、エリアによってまちづくりに対する温度差があり、なぜこの温度差が感じられるのか？

どういった原因があるのか根本的に考え、処方箋について体系的に学びたかったこと

そして、身銭を切って学ぶことの重要性を感じたこと

<受講して気づいたこと>

社会人としての自分の勉強の足りなさ(お恥ずかしい限りです…)
都市経営課題・地域経営課題が何かを自分の中でしっかり考えるきっかけになったこと

敷地に価値なし、エリアに価値ありという考えが根付いたこと

公共も自ら稼ぐという考えにシフトできたこと

我がまちにも「パブリックマインド」を持った民の存在をしっかりと捉えることができたこと

受講生の感想（前身である「公民連携プロフェッショナルスクール」第2期受講生）

●和歌山県海南市 T.Nさん

公民連携プロフェッショナルスクールを受講するきっかけは、地方自治体が借金だらけの国から補助金を取るために必死になっている財政状況は非常に厳しくなると分かっているのに、後のランニングコストも考えないで建てる時に補助金が半分出るからとハコモノを強引に建ててしまう自治体も民間も補助金が無ければ何も出来ないようになっている。

補助金を使いイベントをして、人がたくさん来て成功だと言っている人ばかりだが肝心のその人たちがどれだけ地域にお金を消費してくれたかの議論や数字が全くない。人口減少ばかりの話になっていて、本当の問題である財政について誰も数字を示そうとしない。こんな問題意識を持っていた時に、木下齊氏の「稼ぐまちが地方を変える」という本を読み、またオガールプロジェクトの内容をもっと勉強できないかと考えていた時に、インターネットで検索していると公民連携プロフェッショナルスクールの存在を偶然知り2期生を募集していたので申し込みをしました。問題意識のある方は、迷わないで前に進むべきです。自分への投資と自分の住んでいる街のために、必ず役にたてることを教わります。都市・地域経営課題は何なのか、今のままの行政主導のまちづくりで、まちの活性化などはできません。同じ志の仲間がたくさん増えます。講師は厳しいですが、自分で考えなければならぬ事について教わります。一緒に頑張りましょう。

●富山県南砺市 R.Sさん

講師の皆さまの話しを立て続けに聞く機会があり、ここで学びたい！と強く感じ妻に内緒で申し込みました。今では応援してくれています(笑)。右肩上がりの成長時代に通用した手法はもう通用しません。あなたのまち(プロスクールでは、都市を1つの会社として考えます)は倒産の危機に瀕しています。まちを救えるのは国ではありません。まちを救いたければあなたがやるしかないんです。その手法を徹底的に学び・考え・実行して行きます。このスクールには強烈な講師陣と全国各地に散らばっている猛者と仲間になる事が出来ます。ここから日本は変わります！さあ、自分に投資しましょう！

●徳島県海陽町 T.Tさん

公民連携事業というのは、自分の住む町をよくするひとつの手段です。このスクールでは、その手段を体系的に学んでいきます。実際に事業を運営している方たちから話を直接聞いて、学んでいきます。

終わって数えてみて、2期のカリキュラムでは講義をしてくれた方が16人いました。清水さん、岡崎さんなどスクールの講師陣の他、東京おもちゃ美術館の多田さん、尾道で事業をされている北村さんなど、皆さん自らの手で事業をやっている。その内容を話してくださいます。一人一人のお話には公民連携の手段に加えて「なぜその事業をやっているのか」という根っこの部分、「どういう経緯で現状までやってきたのか」というこれまでの選択が含まれていました。

みなさんがご存知の通り、地域での活動は思いがけないことが起こります。地域での活動は孤独になりがちです。単なる方法論に終わらず想いやその背景を直接聞かせてもらえたこと。私にとっては、手段以上に重要だったように思います。手段というのは、まちの置かれている状況によって変わり、自ら考え出す必要があるからです。たくさんの方の想いがこもった、温かいスクールだったと思います。

スクールを通じて、私自身が地域にどう向き合うかというスタンスが変わっていきました。地域づくりは他人事ではありません。私たちの人生は、住んでいるこの町に乗っかっています。意識を持った人の数。これがそのまま、地域の力になっていきます。ぜひ色々な立場の方に受講してほしいです。日本を変えましょう！

申込特典について

本コースの前身となる「公民連携プロフェッショナルスクール」は、2015年のスタート以後、3期に渡って展開し、延べ150名以上の方々が参加しました。仕事と並行しながら知識習得を進め、同時に各々のまちで具体的な事業を動かすための基盤づくりも行い、まさに公民連携「事業」の実践に向けて方々で走り出しています。一方で、パブリックマインドを持つ「民間」と、プライベートマインドを持つ「公共」はまだまだ少数です。志高く、熱意と行動力に溢れる卒業生ら連携し、各地で同時多発的に公民連携事業を実現させていくためにも、「公民連携スタートアップコース」では、以下3点の「申込特典」を設け、募集を実施いたします。特典は併用も可能です(受講に際しては、事前選考がございます)。

■特典①

第1次募集 先行申込特典

第1次募集期間内に申し込みいただいた方については、以下の特典を適用いたします。

1

●特典：受講料 5万円減免

※ 他割引との併用も可能です。

※ 第1次募集期間時のみの特典となり、他募集期間時の適用はございません。

■特典②

卒業生 推薦特典

各地で同時多発的に公民連携事業を実現させていくためにも、前身となる「公民連携プロフェッショナルスクール」講師、卒業生からの推薦者については以下特典を適用いたします。

●特典：受講料 5万円減免

※ 他割引との併用も可能です。特典利用者は申込フォームにて必要事項をご記入ください。

■特典③

個人申込応援特典

本スクールでは強い意志を持って受講される方を推奨いたします。そのため、組織派遣としてではなく自己負担にて申し込みを行われる個人の方へ、以下特典を適用いたします。

●特典：受講料 5万円減免

※ 他割引との併用も可能です。特典利用者は申込フォームの所定欄にチェックを入れてください。なお、本特典利用に際して、法人・団体名での領収書および請求書の発行は行いませんので予めご了承ください。

「申込方法」 2-1

「公民連携スタートアップコース」については、以下の流れで申込を受け付けます。

申込みに際して、事前対応のお願い

本スクールでは、eラーニング受講に際し、一般社団法人エリア・イノベーション・アライアンスが提供する「AirLec(エアレック)」を活用いたします。お申し込みの際、同システムを利用できることが前提となりますので、各自で動作確認をお願いいたします。なお、動作確認に際しては、AirLecへのユーザー登録が必要となります。

- ・AirLecのユーザー登録画面はこちら → <http://airlec.jp/auth/register>
- ・AirLecの動作確認ページはこちら → <https://airlec.jp/lecture/preview/13/47>

1.本スクールへの申込

右記の「申し込む」または、以下のリンク先より申込フォームを開いてください。

> 申込ページURL : <http://ppp-ps.net/apply4/apply.php>

[申し込む](#)

※同一自治体から複数名でお申込みを希望される場合には、事前に事務局までご一報ください

2.申込フォームの記載・提出

※申込フォーム内の設問回答を総合的に評価し、厳正に選考いたします。

申込受付期間

- ・【1次募集受付】:2018年2月18日(日)まで
- ・【2次募集受付】:2018年3月 1日(木)～3月31日(土)

※事前選考については、申込フォーム内の設問回答を総合的に評価し、厳正に選考いたします。受講申込フォームにしたいがい、ご記入ください。

※AirLecとのシステム連動の関係上、申込時のメールアドレスについては、AirLecに登録いただいたメールアドレスと同一のものを記載いただけますようお願いいたします。

※2次募集以降は、定員に余力がある場合にのみ実施させていただきます。

「申込方法」 2-2

3.事前選考結果のご案内

以下期間に事前選考結果を事務局より申込時に記入いただいたメールアドレスへご連絡いたします。

- ・【1次募集受付対象者】:2018年2月26日(月)～2月28日(水)の間でご連絡を予定
- ・【2次募集受付対象者】:2018年4月 9日(月)～4月16日(月)の間でご連絡を予定

※選考状況・選考結果等に関するお問い合わせには一切お答えできませんので、予めご了承ください。

※当該期間内にメールが届かない場合には、本スクール事務局までご連絡ください。

4.受講料のお支払

事前選考合格者の皆さまには、個別に受講料のお支払日・お振込み先に関わる情報をご案内いたしますので、期日までに受講料を納入願います。

※受講料の払込みをもって正式申込とさせていただきますので、期限内にお支払手続きをお願い申し上げます。期限内にお支払いが確認できない場合には、申込を無効とさせていただきますのでご注意ください。

5.受講開始

受講料の払込みが確認できましたら、事務局よりメールにてご案内をお送りいたします。

お問い合わせ



● 公民連携プロフェッショナルスクール事務局

東北芸術工科大学 企画広報課 担当: 山川

電話: 023-627-2246 / Fax: 023-627-2185 E-mail: t-office@aga.tuad.ac.jp

住所: 〒990-9530 山形市上桜田3-4-5

※ 電話・窓口受付時間 10:00～17:00(土曜日・日曜日・祝日除く)

受講規約・プライバシーポリシー 6-1

[都市経営プロフェッショナルスクール「公民連携スタートアップコース」受講規約]

都市経営プロフェッショナルスクールの「公民連携スタートアップコース」は、一般社団法人公民連携事業機構と東北芸術工科大学(以下、「本スクール事務局」)が共同で提供する教育サービスです。本規約は、公民連携スタートアップコース(以下、「本コース」)の受講に際し、必要な事項を定めたものです。申込は、以下の受講規約を確認、同意の上、行ってください。

■申込にあたって

本コースは、事前申込制です。

受講資格は、本コースで学びたいという意志をもつ方で、本講座の全課程を受講可能な方とします。職業の制約等はありませんが、事前選考を実施させていただきます。詳しくは以下、「事前選考について」をご参照ください。

申込については、以下の期間を設けて実施させていただきます。

・【1次募集受付】:2018年1月29日(月)~2月18日(日)

・【2次募集受付】:2018年3月 1日(木)~3月31日(土)

※申込状況、選考状況を鑑み、追加募集を行う場合があります。実施する場合にのみ、改めて掲示いたします。

申込は、指定の申込フォームより行ってください(詳しくは「申込方法」をご参照ください)。なお、電話・faxでの申込は受け付けられません。

本コースでは、eラーニング受講に際し、一般社団法人エリア・イノベーション・アライアンスが提供する「AirLec(エアレック)」を活用いたします。

お申し込みの際して、同システムを利用できることが前提となりますので、各自で動作確認をお願いいたします。なお、動作確認に際しては、

AirLecへのユーザー登録が必要となりますので、予めご了承ください。

申込に際しては、以下の特典を設けています。なお、特典の併用も可能です。(受講に際しては、事前選考がございます)

・特典①「先行申込特典」:第1次募集期間内に申し込みいただいた方については、基本受講料から5万円減免いたします。

(本特典は第1次募集時のみとなり、他募集期間での適用はございません。)

・特典②「卒業生 推薦特典」

本コースの前身となる「公民連携プロフェッショナルスクール」の講師、卒業生らが推薦する人物については、基本受講料から5万円減免いたします。

(特典活用に際しては、申込フォームの所定の欄に推薦者の氏名をご記入ください)

・特典③「個人申込応援特典」

本コースでは、強い意志を持って受講される方を推奨しております。そのため、組織派遣ではなく、「自己負担にて申し込みを行われる個人」につきましては、基本受講料から5万円減免いたします。

(特典活用に際しては、申込フォームの所定欄にチェックをお願いいたします。なお、本特典適用者につきましては、法人名での領収書発行、請求書発行はいたしかねますので予めご了承ください)

受講規約・プライバシーポリシー 6-2

■事前選考について

事前選考については、申込フォーム内の設問回答を総合的に評価し、厳正に選考いたします。受講申込フォームにしたがい、ご記入ください。

事前選考の結果については、事務局より申込時に記入いただいたメールアドレスへお送りいたします。各募集期間に対する事前選考結果については、以下の期間でご連絡させていただきます。

申込受付の事前選考結果通知について

・【1次募集受付対象者】:2018年2月26日(月)～2月28日(水)の間でご連絡を予定

・【2次募集受付対象者】:2018年4月 9日(月)～4月16日(月)の間でご連絡を予定

選考状況・選考結果等に関するお問合せには一切お答えできませんので、予めご了承ください。

事前選考合格者の皆さまには、事前選考結果のご案内時に受講料の支払期限・振込み先に関わる情報をご案内いたしますので、期日までに受講料を納入願います。なお、期間内にお支払が確認できない場合には、申込を無効とさせていただきますのでご注意ください。

■受講料について

本コースはeラーニングと集合研修によって構成され、全体として基本受講料を設定しており、課程毎の申込はできません。なお、eラーニングを受講いただくためのパソコン等の機材、課題図書準備、開校式・修了式に関わる移動・食事・宿泊手配・ノートパソコンまたはタブレットなど、wi-fiでインターネット接続ならびに資料作成作業が可能なデバイスの準備にかかる費用、また個別の必要備品に関わる費用は本受講料には含まれておりません。ご自身の負担にて対応をお願いいたします。

受講形態:eラーニング + 集合研修(開校式+修了式)

基本受講料:50万円(税別)

学習内容:【eラーニング】本講座 16科目程度のレクチャー動画+課題図書

・本講座映像は、1科目につき約20分のレクチャー映像×4本(合計80分)を基本とし、構成されます。

また、レクチャー動画と併せて、毎週1～2点の課題図書が明示され、それもとにしたレポートを提出いただきます。

・本講座映像は、6月～9月末までの配信を予定しています。

【集合研修】

・開校式(連続2日間):会場/東京、6/30(土)～7/1(日)での実施を予定

・修了式(連続3日間):会場/オガール紫波・岩手県、10/19(金)～21(日)での実施を予定

受講期間:6月～10月

※受講日程については、変更が生じた場合、受講者へ個別にご連絡いたします。

※お申し込みが規定数に達しなかった場合には、開講を見送る場合があります。

※定員につきまして、事前選考状況と集合研修時における対応等を鑑みながら、可能な限り受付させていただきます。

※eラーニングと集合研修に加えて、実施期間中に2回の実地経験を経てくださいとを予定しています。詳しくは開講の際に講師よりご案内いたします。

受講規約・プライバシーポリシー 6-3

■受講料のお支払いについて

受講料は、事前選考実施後にお支払いいただきます。振込先等詳細については、事前選考の合格者に対し、別途お知らせする指定の期限・口座までご入金ください。なお、窓口での現金お支払い等はお受けできません。受講料の納付をもって、正式な「申込受付」とします。期限内にお支払いが確認できない場合には、申込を無効とさせていただきますのでご注意ください。

■受講プログラムについて

本コースは、基礎学習(eラーニング)、開校式、修了式から構成されます。

※受講日程については、詳細確定後、本webサイトへ掲示するとともに、受講者へ個別にご連絡いたします。

【基礎学習(eラーニング)について】

基礎学習は全て指定のeラーニングシステムによって行います。約20分×4点を基本とするレクチャー映像を確認し、小テストとレポート提出が課される「科目」と、指定図書や記事に関するレポートが課される「課題図書」により構成されます。詳細は、本webサイト内「eラーニング」をご確認ください。なお、eラーニングシステム利用については下記のとおり定めます。

①本スクール事務局は、本コースの受講生に対し、講義映像(以下、「コンテンツ」)を、一定の期間において視聴できるサービスを提供し、受講生は本スクール事務局の許諾する利用方法の範囲内において、コンテンツを自己のパーソナルコンピュータおよびスマートフォンで視聴できるものとします。なお、eラーニングシステムは一般社団法人エリア・イノベーション・アライアンスのAirLec(エアレック)を活用し、提供いたします。

②eラーニングシステム「AirLec」を利用できることが受講の前提となるため、お申し込みの前に、各自で動作確認を行うものとします。なお、動作確認に際しては、AirLecへのユーザー登録が必要となりますので、予めご了承ください。

AirLecのユーザー登録画面はこちら→ <http://airlec.jp/auth/register>

AirLecの動作確認ページはこちら →<https://airlec.jp/lecture/preview/13/47>

③eラーニングシステムを利用するには、本コースの受講生となり、AirLec登録時に入力するIDとパスワードをもって、本webサイト内「ログイン」ボタンよりログインすることでコンテンツを確認いただけます。なお、ログインにあたってのパスワードを忘れた場合には、AirLec内パスワード再発行画面より再発行の手続きを行ってください。

AirLec内パスワード再発行画面はこちら→ http://airlec.jp/auth/forgot_password

④eラーニングシステムには、再生終了シーンを記憶しておく機能はございません。

⑤本スクール事務局は、eラーニングシステムの提供範囲を日本国内に限りません。

⑥本スクール事務局は、eラーニングシステムおよびコンテンツの動作保証ならびに瑕疵担保責任は負いません。

⑦本スクール事務局は、eラーニングシステムの内容を随時変更する可能性があります。

⑧本スクール事務局は、システムに起因して当該コンテンツの視聴ができない等の不具合が発生した場合、不具合が生じた日数分に限り当該映像の視聴期間を延長するものとし、受講生の都合による視聴期間の変更は行わないものとします。

⑨eラーニングシステムの利用にあたり、受講生は次の各号に記載する事項を承諾するものとします。

・本スクール事務局が規定する本コース受講期間経過後は当該コンテンツの視聴ができなくなること。

・申込情報(住所、電話番号等申込の際、ご登録いただいた情報)に変更が生じた場合、速やかに本スクール事務局に連絡すること。

受講規約・プライバシーポリシー 6-4

- ・IDおよびパスワードが第三者に使用されることのないよう、適切に管理すること。また、IDおよびパスワードが盗まれた場合、または第三者に使用されていることを知った場合、直ちに本スクール事務局に通知し、本スクール事務局の指示がある場合には、それに従うものとする。管理の不備により、受講生が不利益を被った場合において本スクール事務局は一切の責任を負わないものとします。
 - ・己の責任と費用でパーソナルコンピュータおよびスマートフォン、通信回線その他本サービスの提供を受けるために必要な設備を用意すること。
- ⑩eラーニングシステムの保守点検・更新、火災、停電、天災、故障、通信回線の中断等の事由により本スクール事務局がサービスの提供を一時的に中断する場合があります。なお、本スクール事務局によるeラーニングシステムの保守点検・更新等、本学が予見できるサービスの中断については、あらかじめ本webサイトに掲載、または、受講生にeメールにて連絡することで通知するものとします。ただし、第一種電気通信事業者からサービスが提供されない場合、または停電、機器、システム上のトラブルなど緊急の場合に、予告なくサービスを休止することがあります。
- ⑪本スクール事務局が、本webサイト上に事前告知をした上で、サービスの全部または一部の提供を中止することがあります。
- ⑫本スクール事務局がeラーニングシステムの運営上、不相当と判断した情報が本webサイトまたは本webサイトからのリンク先に書き込まれた場合、本スクール事務局は受講生および情報の書き込みを行った者の承諾なしに、当該情報の削除、または本webサイトに設定されたリンクを切断できるものとします。
- ⑬本webサイトあての電子メールなどにユーザが書き込んだ文章、画像その他一切の情報について、本スクール事務局が運営上必要と判断されるときには、本スクール事務局の管理者が受講生に事前の予告、対価の支払いなく他媒体への転載、消去、添削、改変できるものとします。
- ⑭映像配信受講システム利用における推奨環境については、本webサイト内「eラーニング」をご参照ください。

【開校式について】

開校式は連続2日間の日程で主にグループワークおよび参加者の交流を目的とした内容となります。会場までの移動・食事にかかる費用はご自身で対応をお願いいたします。なお、開校式実施に際する対応につきましては、後述する「集合研修(開校式・修了式)の実施に際して」の記載内容と同様となります。

【修了式について】

修了式は、3日間連続の集中演習となり、主にグループワークおよび参加者の交流を目的とした内容となります。会場までの移動・食事にかかる費用はご自身で対応をお願いいたします。なお、開校式実施に際する対応につきましては、後述する「集合研修(開校式・修了式)の実施に際して」の記載内容と同様となります。

【集合研修(開校式・修了式)の実施に際して】

- ①集合研修の映像配信は原則実施いたしません。
- ②集合研修の実施会場は、京都造形芸術大学・東北芸術工科大学 外苑キャンパス(東京・明治神宮外苑)または、オガール紫波(岩手県紫波郡紫波町)のいずれかを予定しています。詳しくは前述の「■受講料について」内「【集合研修】」部をご確認ください。変更が生じる場合には、受講者へ個別にご連絡いたします。なお、移動・食事・宿泊先にかかる手配および費用、またノートパソコンまたはタブレット端末、参考文献等の個別の必要備品に関わる費用はご自身で対応をお願いいたします。
- ③天災、事故、講師の急病、天候等の状況により、やむを得ず休講となる場合があります。その際の移動交通や宿泊等にかかる費用についての補償はできません。

受講規約・プライバシーポリシー 6-5

④講座開始の2時間前以降に、集合研修の会場(東北芸術工科大学 外苑キャンパスの場合は「東京23区西部」もしくは「港区」)で気象に関する警報(暴風警報、暴風雪警報または特別警報のいずれか)が発令された場合は、休講を検討します。休講となった場合には、開講日程や時間を変更しての補講や別の講師での代講を行います。休講・補講・代講を判断した場合には、webサイトまたは受講生にeメールにて連絡することで通知するものとします。webサイトをご確認いただけない場合は、事務局までお問い合わせください。補講、代講等が実施できない場合は、本スクールの受講料のうち、当該授業にかかる受講料を銀行振込(ゆうちょ銀行を除く、返金時の振込手数料は本スクール事務局負担)にて返金します。算出方法は下記のとおりとします。

・返金額の算出方法

税別の受講料を総授業時間数で除し、その金額を当該授業分数で乗することで算出します。

⑤その他集合研修受講時の注意事項

- ・教材・テキスト、文房具などの貸し出しはできません。
- ・プレゼンテーション等で使用する資料の印刷等準備は対応できません。
- ・欠席された際に配付した教材・資料のお渡しはできません。
- ・キャンパス内の決められた場所以外での喫煙、教室内での飲食はご遠慮ください。
- ・当日の音声、画像、または映像による記録データの貸し出しは行いません。
- ・受講時以外の教室利用はできません。
- ・貴重品は必ず手元に置き、各自で管理してください。万一、盗難や紛失等があった場合、責任は負いかねます。
- ・駐車場、駐輪場はありません。会場来訪にあたっては公共交通機関を利用し、自動車、バイク、自転車での来学はご遠慮ください。

■受講のキャンセルについて

受講料納付後およびスクール開始後のキャンセルならびに返金依頼(全額・一部問わず)は、いかなる理由があってもお受けできません。また、次期への振替等もできません。ご理解の上、お申し込みください。

事前選考合格後、受講料納付前に受講をキャンセルする場合は、必ず電話にて本スクール事務局にご連絡ください。fax、e-mailでのキャンセルのお申し出は受付できません。また、一度キャンセルされた後のキャンセルの取り下げは受付できません。キャンセルのご連絡がなく、受講料を期限までにご入金いただけない場合は受講料を請求いたします。

■講座の中止、変更について

受講生が一定人数に満たなければ、開講を中止する場合があります。開講が中止となった場合、受講生に個別連絡の上、受講料をお支払いいただいている場合には受講料全額を返金いたします。返金は銀行振込(ゆうちょ銀行を除く、振込手数料は本スクール事務局負担)により行います。

受講規約・プライバシーポリシー 6-6

■その他

- ・本コースの受講は、申込者ご本人に限ります。第三者への権利の貸与・譲渡はできません。
- ・大きな病気をされている方、障がいのある方で受講上、不安に思われることがありましたら、受講申込前に本スクール事務局にご相談ください。内容によっては、受講をお断りさせていただく場合がございます。
- ・教材・テキスト、資料のみの販売は行いません。
- ・住所、氏名など、登録時に届け出た情報に変更があった場合は、本スクール事務局までお申し出ください。
- ・受講生が以下の項目に該当する場合、事前に通知することなく当該受講生の受講資格を取り消すことができるものとします。また、場合によっては損害賠償を請求することがあります。
- ・申込者以外の第三者に本スクールの受講権利を貸与・譲渡していた場合
- ・eラーニング教材および集合研修時の録音、撮影、録画、再配布を行った場合
- ・他の受講生の迷惑となる行為、本スクールの授業進行を妨げるような行為など、本スクールにおける秩序を乱し、受講生としての本分に反する行為があった場合
- ・本スクール事務局は前項の定めに従って受講生の受講資格を中断または取り消す場合、当該受講生が既に納入した受講料は返還いたしません。

■個人情報の取り扱いについて

本コースを運営する一般社団法人公民連携事業機構と東北芸術工科大学は、教育研究・広報活動上使用する受講生・仮申込者などの個人情報について、個人情報保護に関する法令およびその他の規範を遵守するために自主的なルールおよび体制を確立し、以下のとおりプライバシーポリシー(個人情報保護基本方針)を定め、これを実行し維持します。

プライバシーポリシー

本申込や各種イベントにあたってお知らせいただく住所、氏名、その他個人情報は、一般社団法人公民連携事業機構と東北芸術工科大学にて実施する講座の資料発送および両団体関連イベントにかかわるお知らせを行う以外には使用いたしません。なお、この資料発送業務は、個人情報を適正に取り扱っていると認められる委託先(以下「受託業者」といいます)を選定し、業務を委託する場合があります。なお、その際は守秘義務契約などを取り交わすとともに適切な管理を実施します。業務委託にあたり、受託業者に対して、お知らせいただいた個人情報の全部または一部を提供することをあらかじめご了承ください。受託業者にはその委託業務を超えた利用はありません。

附則

- 1、2018年1月1日から施行する
- 2、2018年1月29日から施行する